

てく Take ちゅう Walking 29

『お仕事拝見！』

ハコメシヤ（就労継続支援A型・B型事業所）

今回は、市電停留所「山鼻9条」から徒歩1分のところにある、就労継続支援A型・B型事業所ハコメシヤにお邪魔して、事業の内容についてお話を伺いました。

ハコメシヤは、平成27年12月に開設された新しい事業所です。

理事長が飲食店を行っていた経験上、お弁当のニーズが高まっていることに注目し、障がい者の就労につながるために、当初は就労継続B型事業所としてスタートしました。

今年の3月からは、就労継続支援A型も併設し、多機能型事業所として、新たなスタートを切っています。

定員はA型10名、B型10名の計20名で、作業時間は9時から16時までとなっています。

利用している方は、多くが精神障がいの方で、B型を利用されている方は、心身の状態に合わせて自分のペースで通所しています。また、A型を利用されている方については、基本的に毎日通所して作業を行っているとのこと。

事業内容については、外部から注文を受けたお弁当の製造、及び店頭での販売となっています。このうち店頭販売については、今年3月のA型事業所開設に伴い、できることが増えてきたため業務内容を拡大したとの話でした。

店頭販売の内容は、2種類の固定メニューに加え、週替わりメニューが1種類の計3種類となっており、メニューの看板を設置してからは近隣の方が来るが増えてきたそうです。ゆくゆくは日替わりメニューにも挑戦できたら、とお話もありました。



看板の効果でお客さんが増えてきました

お弁当の製造については、以下のようなスケジュールで行われます。

まず、9時から10時半頃まで盛り付け作業を行います。利用者の方が理解しやすいように、写真や図入りの工程表を作成し、それを参考にして作業します。もちろん、分からないことがあるときにはスタッフの方がフォローしてくれれます。

盛り付けがひと段落したら、今度は弁当箱の組み立てや、利用者の方が食べる食食の調理補助など、複数の作業を行うそうです。

月1回のレクリエーションでは、ホテルのランチビュッフェで昼食会を行い、食事を楽しみながら

ら、盛り付けなどについて学ぶとのこと。

利用者の方に対して配慮していることについてお話を伺いました。障がいの特性上、「コミュニケーションが苦手な方が多いことから、作業中や休憩中の会話などに気を配り、一人ひとりの個性に合わせた対応を行っているとのことでした。

最後に、事業所のPRポイントを伺いました。「お弁当の味には自信があります！店頭販売は11時から15時までとなっていますので、お時間のある時に是非いらしてください。またまった数で注文された場合、来店時間に合わせてお渡しすることも可能です。近隣への配達についても対応できる場合がありますのでお問い合わせください。また、中学校の支援学級の生徒を対象に、作業所の見学や作業体験等のイベントを行った経験があるため、こういった要望にもお応えできると思います。ご希望の方はお気軽にご連絡ください。

店頭販売のメニュー



作業所の見学や作業体験等のイベントを行った経験があるため、こういった要望にもお応えできると思います。ご希望の方はお気軽にご連絡ください。

皆さまのご来店をお待ちしております。

〈問い合わせ先〉064・08009

札幌市中央区南9条西6丁目1・32

ヒースビル 1F

就労継続支援A型・B型事業所 ハコメシヤ

電話 011・2005・03009

FAX 011・2005・04008